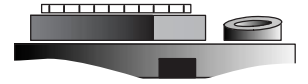


足寄動物化石博物館 フォストーリーあしよる



089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 電話 0156-25-9100 ファックス25-9101  
Eメール staff@museum.ashoro.hokkaido.jp  
ホームページ <http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp> (博物館だよりカラー版あり)

## 足寄の化石活躍

# アショロア骨格 北海道大学総合博物館に展示

足寄動物化石群最初の標本であるアショロアは、発見以来札幌の北海道大学に収蔵されていましたが、足寄博物館の設立がきまった1995年、足寄町に移管されました。本格的なクリーニング作業は足寄化石作業所で取り組みました。発見から25年目の2001年、足寄動物化石博物館としては最初の復元骨格として完成し展示することができました。

標本を足寄町に移管するときの約束(覚書)でレプリカー式を提供することが決められましたので、復元骨格として1体をお渡ししました。このたび、北大総合博物館が拡充され、アショロアの骨格が展示されました。場所は元の理学部長室。特別の配慮、というわけではないでしょうが、博物館の玄関の真上という好位置です。

北海道大学総合博物館は理学部旧館にあります。デスモスチルス気屯標本やニッポノサウルス(樺太で見つかった恐竜)も展示されています。化石以外にも、道内の岩石資料、樺太をはじめ北方研究なども充実しており、見応えがあります。



玄関正面の階段を上がり、三階にある元理学部長室に設置されたアショロア

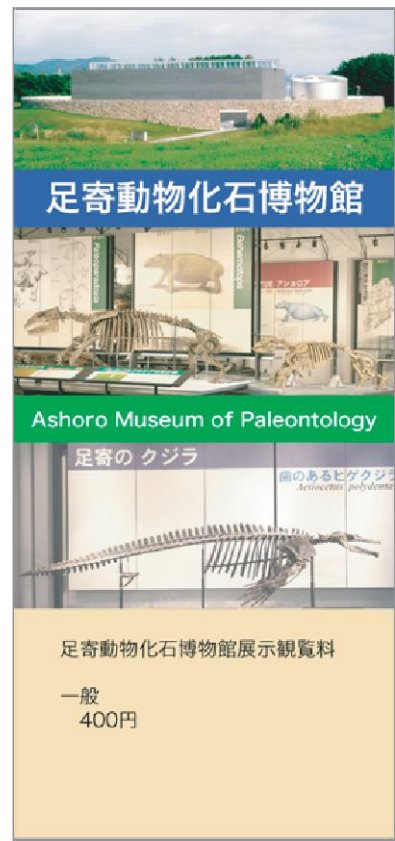
## 博物館の新規

### 観覧券が新しくなりました

博物館の使用料は、「展示観覧料」としていただいています。入館者には領収書を兼ねて観覧券をお渡ししています。観覧券は、開館以来ベヘモトプスの骨格をあしらった地味なものでした。このたび、料金の改定にあわせて新しいデザインに変更しました。

新しい観覧券は、館の建物・アショロアとベヘモトプス・歯のあるヒゲクジラ＝アショロカズハヒゲクジラの写真を取り入れ、一目で「足寄動物化石博物館」がわかるようにしました。

新観覧券の使用にともない、いままで入館者全員にお渡ししたリーフレットを希望者のみとします。受付の横のラックに置きますので、必要に応じてお持ちください。



### 買い物バッグ 新デザイン

2004年に製作したエコバッグは、買い物袋としての利用をお勧めし、来館記念品としても好評で、2年間で600個が売れました。

あたらしいものは、袋を2種類にし（サイズ・デザイン・色）、用途によって選択していただけるようにしました。

レジ袋有料化の動きもあります。買い物袋＝エコバッグとして毎日の生活に利用してください。もちろん、おみやげとしても最適！



## 資料収集

### トドを収集

標津漁港に漂着したトドを収集しました。標津町でホエールウォッチングや海生哺乳類の生態調査を続けている佐藤晴子さんのお世話になりました。骨格標本にして、化石と比較するための資料として活用する方針です。

## 休館日 || 6月6日、13日、20日、27日 7月4日、11日、18日

博物館の動き 6月（館の行事や職員の動き、来館団体、など）

6月 1日	帯広盲学校のみなさん	16日	帯広市若葉会のみなさん
4日	置戸町教委事業		帯広市民生委員のみなさん
7日	糠内中学校のみなさん	17日	帯広市児童会館事業
9日	士幌高校のみなさん	18日	2006あしよろ化石教室第1回
12日	北見中央小S8OBのみなさん	29日	鶴居村連合小学校のみなさん
15日	弟子屈高校のみなさん	30日	上士幌町シルバー学級のみなさん
		28~30日	北海道博物館大会（紋別市・澤村出席）